

医療と暮らしを考える会 設立記念シンポジウム

医療との付き合い方を考える ～心ゆたかに生きる～

神戸会場とオンライン（ZOOM、参加費無料）併用

会場参加費1000円
（事前申し込み不要）

日時

2020年

10月10日（土）17:30-19:30（開場17:10）

兵庫県民会館 1202号室 神戸市中央区下山手通4丁目16-3

※オンラインは先着40名

Facebookの申し込みフォームまたは事務局宛メールで受け付け（10/7 午前10時締切）

「最近の在宅医療の景色」

医療法人社団思葉会 MEIN HAUS
訪問看護ステーション所長 市橋正子氏



「誰のための医療か
～本人？ 家族？ 医者？～」

長尾クリニック院長 長尾和宏氏



意見交換会

進行：医療と暮らしを考える会
理事長 宮本直治



主催：医療と暮らしを考える会

後援：日本ホスピス・在宅ケア研究会、がん患者グループゆずりは

医療と暮らしを考える会

神戸市中央区北長狭通4丁目2-19
アムズ元町 4F-2

お問い合わせ

TEL:080 - 1476 - 5715

✉ : iryou.to.kurashi@gmail.com



医療法人社団思葉会
MEIN HAUS 訪問看護ステーション所長 市橋正子氏

医療法人社団思葉会 MEIN HAUS 訪問看護ステーション
神戸大学医療技術短大卒業 阪神淡路大震災後、仮設住宅をまわる訪問看護師の臨時採用から25年。「療養通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」を立ち上げて、看護を展開しています。

緩和ケア認定看護師 訪問看護認定看護師 特定看護師 (介護支援専門員)



長尾クリニック院長 長尾和宏氏

長尾和宏(ながお かずひろ) 医療法人社団裕和会 理事長、長尾クリニック 院長 東京医大卒業後、大阪大学第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。

「平穏死・10の条件」、「薬のやめどき」、「痛くない死に方」はいずれもベストセラー、「糖尿病と膵臓がん」、「男の孤独死」、「痛い在宅医」は発売即重版、他著書多数。医学書「スーパー総合医叢書」全10巻の総編集など。令和元年12月には、小説「安楽死特区」を発売、即重版。著書「痛い在宅医」は、令和3年春に映画「痛くない死に方」として公開予定。

日本慢性期医療協会 理事、日本尊厳死協会 副理事長、日本ホスピス在宅ケア研究会 理事。関西国際大学 客員教授。医学博士。



医療と暮らしを考える会 理事長 宮本直治

大学卒業後、病院薬剤師として勤務するかたわら、32才より野田風雪氏に師事して仏法を学ぶ。2007年胃がんステージⅢで手術。その3年後僧籍を取得、翌年緩和ケア病棟（ホスピス）のビハラー僧研修生。「与えられた時間と環境の中で生き方を考え、豊かに生きる」を見つめ、各々の持ち前を社会に活かす活動に力を注ぐ為に病院を退職。2020年医療と暮らしを考える会設立。

医療と暮らしを考える会理事長。がん患者グループゆずりは代表。

宿坊で語り合うガン患者の集い主宰。日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。

がん患者団体支援機構副理事長。薬剤師。ビハラー僧（浄土真宗僧侶）

第1部

～医療と暮らしを考える会 会員募集中～

(年会費：5000円 入会金：正会員1万円・賛助会員2000円)

詳しくは事務局までお問合せ下さい

フェイスブックページ



- 【理念】患者と家族が様々なシチュエーションに正面から向き合うための情報を取得し、互いに思いやりのある関係創りを目指し、より深く生きるを考える社会構築に寄与する。
- 【目的】患者及び患者と並走する家族に対するサポート事業を行うことで、後悔のない家族関係及び人間関係を確立する文化づくりに貢献し、もって次世代に受け渡すべき“思いやりのあるコミュニティ作り”に寄与することを目的とする。
- 【活動予定】
- ・がん患者に並走する家族の心得セミナー開催 (有料セミナー 会員割引あり)
 - ・医療の在り方を考えるオンライン座談会 (一般、会員とも無料)
 - ・医療処置を学ぶセミナー (有料セミナー 会員無料)
 - ・暮らしで必要なことを学ぶセミナー (有料セミナー 会員無料)

医療と暮らしを考える会 事務局

神戸市中央区北長狭通4丁目2-19 TEL:080 - 1476 - 5715

アムズ元町 4F-2

✉: iryou.to.kurashi@gmail.com